

整理番号 2017P-131

補助事業名 平成29年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業

補助事業者名 一般社団法人 日本自閉症協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自閉症の概念が自閉症スペクトラム（以下ASD）として知的障害を伴った自閉症から、知的障害を伴わない高機能自閉症やアスペルガー症候群などを含んだ広義なものとして認識され、社会の中にもこのような障害を持つ方が多くいるということがわかってきました。自閉症児者はその多種多様な障害特性のため、地域社会等の日常生活において正しい理解や支援を受けられず常に生き辛さを感じ、孤立してしまう場合も多くみられます。自閉症児者が豊かで安心した生活をおくれるように、本人とその家族のみならず、広く社会全体に自閉症の正しい情報を提供し、理解啓発をおこなっていくことが重要だと考えます。また周囲の理解を促すだけでなく、自閉症児者が苦手としている集団生活を行い、コミュニケーション能力などの社会スキルを身に付ける機会を設け、自閉症児者とその家族の心に寄り添った支援を充実させることで、自閉症児者とその家族の生活の質を向上させることを目的としています。

(2) 実施内容

<http://www.autism.or.jp/report05/keirin/h29jka.pdf>

① ASDのある人やその家族、支援者のための指導誌（紙）の発行

ASDの人やその家族、療育・教育の関係者、施設職員等の支援者等に向け、年1回指導誌の発行、2ヶ月に1回（年6回）会報誌を発行しています。記事の内容は、ASDに関する国の制度や施策、医療、療育、教育、福祉、文化芸術スポーツ活動、海外の取り組み等について掲載しており、各分野の最前線で活躍する専門家による質の高い情報提供を行っています。また、日本自閉症協会や関連機関の活動の紹介、ASDの子供の親の立場での体験談等も紹介しており、ASDに関わる様々な立場の人にとって有益となるような情報提供を行っています。



② ASDのある人の地域生活を豊かにする学習相談会

<http://www.autism.or.jp/report05/keirin/h29jka.pdf>

医師や教師、その他療育関係者等の専門家によるASDに関する講演会と参加者一人ひとりの悩みに寄り添う相談会がセットになった学習相談会を開催しています。ASDの人とその家族が安心して地域で生活できるように、地域で関心が高いテーマについての講演を行います。専門家によるASDに関する正しい知識や対応を紹介することでASDの人とその家族の生活の質の向上を図ります。また、相談会では参加者一人ひとりの困りごとに専門家が耳を傾け、困難な状況を解決するための機会を設けることで参加者の生き辛さの軽減を図っています。



③ ASDのある人とその家族のための集団指導キャンプ

<http://www.autism.or.jp/report05/keirin/h29jka.pdf>

ASDの子どもとその家族を対象とした1泊2日の集団キャンプを行います。子どもは集団行動を通して、家族以外の人とのコミュニケーションを図り、医師や教師等の専門家による療育プログラムに取り組みます。親は似たような立場の親同士での交流を通して、日常感じている困難さを共感しあい、地域で生活する上で必要なつながりを作ることができます。また、子どもの就寝後に、専門家による講演会を開催し、ASDへの理解を深めます。参加した親子が直面している困難な状況や孤独感を軽減し、キャンプ後の日常生活を意欲的に過ごせるようなプログラムを計画し実施しています。



④ ASDのある人の就労支援に関する現状調査

http://www.autism.or.jp/report05/keirin/h29_jka.pdf

全国の就労移行支援事業所 3,840 ヲ所を対象に一次調査としてアンケート調査を実施した。一次調査に回答いただいた事業所の中で、二次調査への協力の意向をいただいた事業所に、より詳しい現状について二次調査となるアンケート調査を実施した



目次	
はじめに	1
調査の概要	5
一次調査	
基本情報	9
就労結果	12
自給自足	19
二次調査	
基本情報	43
就労結果	46
自給自足	73
資料	
一次調査票	79
二次調査票	87
終わりに	87

2 予想される事業実施効果

① ASDのある人やその家族、支援者のための指導誌（紙）の発行

関係機関や福祉施設の職員・教師等に継続的に届けることで、自閉症児者への合理的配慮に基づく制度や支援体制作りなどにつながることを期待されます。またASDのある人とその家族にとっては、ASDを取り巻く新しい情報を得ることで自分達に合った正しい支援を選択することができるようになります。

② ASDのある人の地域生活を豊かにする学習相談会

専門家や地域の支援者が連携をとり、自閉症児者とその家族にとって困難な状況を解決する場を設けることで日常生活での生き辛さを軽減することができます。更に自然災害などの有事の際には支援者や他のASDのある人とその家族との連携が期待できます。また継続して行うことで支援者の心の負担も軽減され、支援活動を継続していく力となります。

③ ASDのある人とその家族のための集団指導キャンプ

1泊2日のキャンプを通して、ASDのある人が苦手としている対人コミュニケーション能力などの社会的スキルを身につけることができます。また、普段はASDの本人としか関わりのない家族の方も、他の参加者と情報交換をしたり、研修や勉強会でASDに関する理解を深めたりします。そして、自分の子どもが他の参加者とコミュニケーションをとり、集団生活を送っている様子を垣間見ることができ、改めて親子での関わりについて考える一つの契機となります。

④ ASDのある人の就労支援に関する現状調査

本調査結果から見えてきたことをもとに、就労を見据えた家庭での支援に関する講演会を検討しています。幼児期や学齢期のうちから、就労を見据えて、身に付けておくべきスキル等について、その具体的な習得方法なども踏まえて講演会を実施する予定です。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://www.autism.or.jp/report05/keirin/h29jka.pdf>

「いとしご164号」	14,000部
「いとしご165号」	14,000部
「いとしご166号」	14,000部
「いとしご167号」	14,100部
「いとしご168号」	14,300部
「いとしご169号」	14,000部
「かがやき14号」	13,900部

自閉症スペクトラムの人たちの就労移行支援状況調査
～就労を見据えた家庭での支援を検討するための基本調査～
報告書 1,000部

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
該当物なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人日本自閉症協会（ニホンジヘイシヨウキョウカイ）

住 所： 〒104-0044

東京都中央区明石町6-22

築地ニッコンビル6階

代 表 者： 会長 市川 宏伸（イチカワ ヒロノブ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 事務局職員 陳野 功（ジンノ コウ）

電 話 番 号： 03-3545-3380

F A X： 03-3545-3381

E - m a i l： asj@autism.or.jp

U R L： <http://www.autism.or.jp/>